



▲酒田南高校でも陸上の指導に当たる阿部さん

阿部さんのもと
もと野球部でした
ぞかせます。
と監督の苦労もの
にはいきません」
間選手の配置は
なかなか思い通り
なかなかに思ひ通り
なかなかに思ひ通り
なかなかに思ひ通り

「近年、上位入賞はしているもの、やっぱり優勝して市民の皆さんの期待に応えたい」と語るのは、平成17(2005)年から酒田飽海チームの監督を務めている阿部さん。
3日間で県内を縦断する県縦断駅伝競走大会は合計28区間でタスキをつなぎます。酒田飽海チームは補欠を含め25人の選手で編成されます。
「日頃、市民の皆さんから声を掛けてもらうとうれしいし、選手が勤める企業などが練習や大会に快く送り出してくれることに感謝しています」と話してくれました。また「選手にけがは付きものです。大会3日

優勝して期待に応えたい



今月の人 Abe Ryo

阿部 亮 さん(宮野浦二丁目)

山形県縦断駅伝競走大会酒田飽海チーム監督

さかたの風

若い力に期待

が、中学2年生の時に担任で陸上を教えていた阿部節子先生に勧められて本格的に陸上を始めました。前から長距離走は速かったそうですが、さらに走ることへの向上心が増したそうです。高校1年のとき酒田飽海チームの選手として選ばれ、県縦断駅伝には通算して11回出場しました。こうした経験から学業・仕事と競技の両立の難しさにも理解を示します。

チーム力の維持には練習の他にも苦労していることがあります。「チームを強くするには外から選手を起用するなどさまざまな方法があると思いますが、酒田飽海チームは地元選手の育成を基本とし、10年前位から高校生、ジュニアの強化、育成に力を注いできました。もうすぐ、今まで積み重ねた花が開くようになる時期ですね」と笑顔で語ってくれました。

颯爽たる雄姿の阿部さんからは大会に臨む強い意志を感じました。

県内の各チームがしのぎを削る山形県縦断駅伝競走大会は4月27日(日)〜29日(祝)に開催されます。酒田飽海チームに多くの皆さんの声援をお願いします。

フォトギャラリー

思い出のまち 24



酒田方式トラクター導入

昭和41年4月、本市は農業の機械化と協業化を図るため農業構造改善事業(酒田方式)により共同利用トラクター50台を一斉に導入しました。

写真は、田植え前の春耕作業で、北平田地区利用組合に導入されたトラクターを関係者が取り囲んでいる様子。

◆今回でフォトギャラリーは終了します。今までご愛読ありがとうございました。

孟宗の煮物

【材料】4人分

- ・孟宗(タケノコ) ……300g
- ・干しシイタケ ……4枚
- ・ニンジン ……100g
- ・厚揚げ ……150g
- ・板こんにゃく ……100g
- ・サヤエンドウ ……8枚
- ・だし汁 ……500cc (干しシイタケの戻し汁+水)
- ・砂糖 ……大さじ1
- ・酒 ……大さじ1/2
- ・しょうゆ ……大さじ2

【作りかた】

- ①生のタケノコは下処理をし、穂先はくし切り、軸はいちょう切りにする。干しシイタケは水で戻す。
- ②ニンジン、厚揚げ、板こんにゃくは大きめに乱切りにし、厚揚げと板こんにゃくは三角に切る。
- ③サヤエンドウはすじを取ってからゆで、斜め半分に切る。
- ④①と②をAで煮て、③のサヤエンドウを飾る。



食生活改善推進員からの

みそ味でもおいしくいただけます。

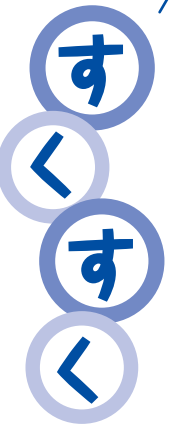
ワンポイント

酒田の味

47

昔ながらの酒田の味
酒田市食生活改善推進員が紹介します

孟宗(タケノコ)は、孟宗汁をはじめ木の芽あえ、刺身、田楽、焼荀などさまざまな料理があります。新鮮なタケノコが出回る時季に、庄内の春の味覚をお楽しみください。



子育て講座



●お問い合わせ／市子育て支援課子ども支援係 ☎26-5735

手のひらのぬくもり

待ちに待った春の到来です。

「お兄ちゃんみたいに格好良く自転車に乗りたい」とケンちゃんは、お父さんと自転車の練習を始めました。補助輪付きだと、安心して漕げるのですが、外すとどうもうまくいきません。お父さんが自転車の後ろを支えてくれます。でもケンちゃんはおっかなびっくり。何度か繰り返しているうちに、お父さんは腰が痛くなってきました。つい「もっと強く蹴って」「もっとスピード出さなくちゃ」と声が大きくなります。

そのうち、ケンちゃんは、「もういい」「もう乗らない」と投げ出してしまいました。「何ですぐ諦めるんだ」「ほら練習しよう」。でもその声はケンちゃんには届きません。

大阪府堺市の「必ず笑顔にしてみせます」がモットーの自転車教室を

東北公益文科大学教授
國眼 眞理子 先生

ご存じでしょうか。親の指導では自転車に乗れない子が、定年退職後のボランティアの指導で乗れるようになるという話です。親もボランティアも乗れるようになった子どもの喜ぶ顔が見たいという思いは同じはずですが、何が違うのでしょうか。

ひとつなるほどと思ったのは、指導員は自転車を押すのではなく、子どもの背中に手のひらを当て支えながら、伴走するのです。背中に触れているだけです。ふらつきも子どもが転べば、指導員も転ぶことでもあります。でも、子どもは何度も挑戦します。

きっと大人の大きな手の支えとそ肌の温もりからくる安心感が、乗れるようになるという気持ち促すのでしょう。一人で乗れた時の子どもの笑顔がとても印象的でした。



「地域包括支援センター」

高齢者の身近な相談窓口

●お問い合わせ／市介護保険課予防支援係 ☎26-5755

地域包括支援センターでは、高齢者の身近な相談窓口として保健・医療・福祉・介護など幅広く相談に応じています。

高齢者または家族に対して、介護認定を受ける手続きの手伝いや、必要に応じて個人に合わせたサービスの調整を行います。その他、高齢者に対する虐待の防止・早期発見などの権利擁護に関すること、認知症に関する相談や支援なども行います。

どのように相談したらいいの？

地域包括支援センターは、下記の通り市内10か所に設置されています。ま

どのように対応してくれるの？

まずは、お住まいの地域の地域包括支援センターに電話してください。事務所に直接来てもらっても結構ですし、希望に応じて職員が自宅へ出向いて話を伺うこともできます。

住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らしていくために、どのような支援ができるのか、本人や家族の要望や生活の様子も確認しながら、アドバイスしています。

その他には、認知症の理解を広める「認知症サポーター養成講座」などを開催しています。また地域の民生委員などと協力し、高齢者を地域全体で支える活動にも力を入れています。

酒田市地域包括支援センター (対象地域 小学校区)	電話番号
なかまち (琢成、松陵)	23-5591
にいだ (浜田、若浜、飛鳥)	22-2640
はくちょう (亀ケ崎、松原)	21-0818
あけぼの (富士見、泉)	26-7789
かわみなみ (浜中、黒森、十坂、宮野浦、新堀、広野)	92-3451
ほくぶ (南遊佐、鳥海、西荒瀬)	28-2002
ひがし (平田)	94-2470
やわた (一條、八幡)	64-3777
まつやま (松山、内郷、地見興屋)	61-4033
ひらた (南平田、田沢)	52-3895